

第10章 屋上緑地

1. 屋上緑地の現況

1-1 屋上緑地の概況

区内の屋上緑地の概況を表10-1に示す。

区内の1㎡以上の屋上緑地は3,178箇所、総緑化面積は122,141㎡、1箇所当たりの緑化面積は38.4㎡であった。

また、表10-2に主な屋上緑地施設を示す。

表10-1 屋上緑地の概況

箇所数(箇所)	緑化面積(㎡)	1箇所当たりの緑化面積(㎡)
3,178	122,141	38.4

表10-2 主な屋上緑地施設

施設名称	所在地	緑化面積(㎡)	用途
早稲田アリーナ(37号館)	戸山1-24-1	2,318	学校
CO・MO・RE YOTSUYA(コモレ四谷)	四谷1-6	2,198	事業所
伊勢丹本館	新宿3-14	2,167	事業所
下水道局落合水再生センター	上落合1-2-40	1,910	公共施設
京王プラザホテル	西新宿2-2	1,737	事業所
富久クロスコンフォートタワー①	富久町17	1,605	事業所
ベルサール新宿グランド	西新宿8-17-3	1,574	事業所
国立国際医療研究センター①	戸山1-21	1,554	公共施設
新宿セントラルパークタワー	西新宿6-15	1,533	事業所
国立競技場	霞ヶ丘町10-1	1,393	公共施設
慶應義塾大学信濃町キャンパス(1号館)	信濃町35	1,380	学校
小田急第一生命ビル	西新宿2-7-1	1,220	事業所
新宿三井ビル	西新宿2-1	1,204	事業所
国立国際医療研究センター②	戸山1-21	1,167	公共施設
防衛省①	市谷本村町5	957	公共施設
内閣衛星情報センター	市谷本村町5	892	公共施設
富久クロスコンフォートタワー②	富久町17	840	集合住宅
日本青年館	霞ヶ丘町4-1	834	事業所
創価学会 恩師記念会館	南元町5-3	811	その他
ザ・センター東京	市谷本村町 7-4	772	集合住宅
防衛省②	市谷本村町5	762	公共施設
新宿マルイ本館	新宿3-30-13	755	事業所

1-2 地域別の屋上緑地の状況

10 地域別の屋上緑地の状況を表 10-3、図 10-1 に示す。

箇所数が最も多いのは四谷地域の 559 箇所、次いで笹笥地域の 480 箇所であった。緑化面積においても四谷地域が 24,145 m²と最も大きく、次いで若松地域が 19,372 m²、笹笥地域が 19,190 m²、新宿駅周辺地域が 15,105 m²である。1 箇所当たりの緑化面積では若松地域が 88.5 m²と最も大きく、最も小さいのは榎地域の 14.5 m²であった。

表 10-3 10 地域別屋上緑地の状況

地 域	箇所数 (箇所)	緑化面積 (m ²)	1箇所当たりの 緑化面積 (m ²)
四谷地域	559	24,145	43.2
笹笥地域	480	19,190	40.0
榎地域	402	5,833	14.5
若松地域	219	19,372	88.5
大久保地域	358	9,575	26.7
戸塚地域	278	7,885	28.4
落合第一地域	267	7,411	27.8
落合第二地域	189	4,113	21.8
柏木地域	252	9,514	37.8
新宿駅周辺地域	174	15,105	86.8
区 全 体	3,178	122,141	38.4

*緑化面積は小数第 1 位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。

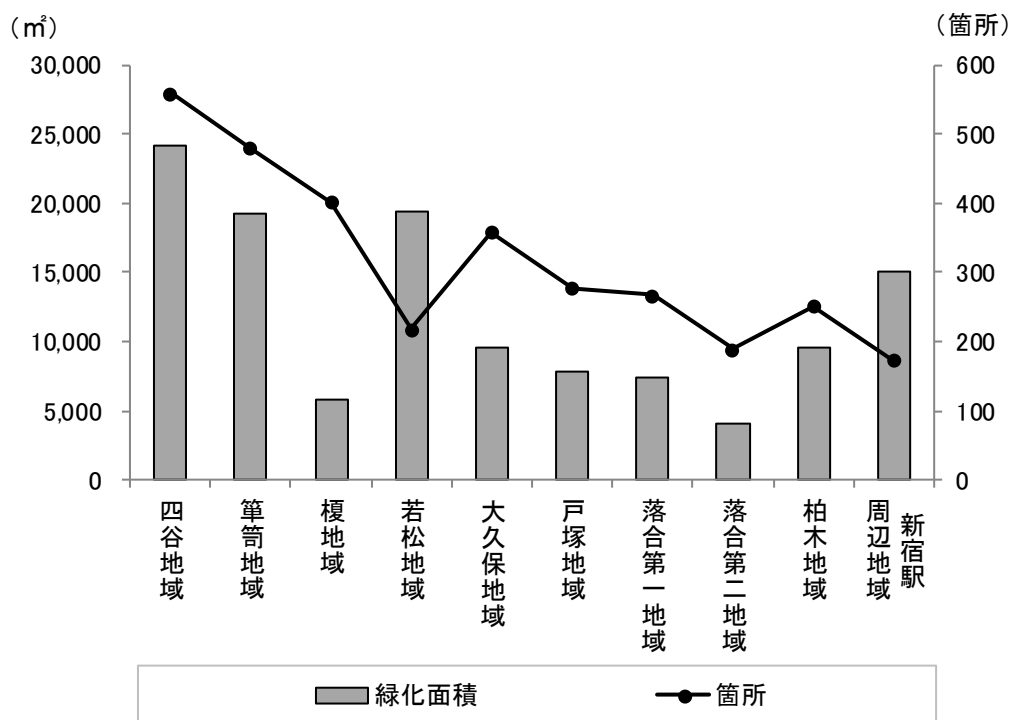


図 10-1 10 地域別屋上緑地の箇所と面積

10 地域別・面積規模別の屋上緑地の状況を表 10-4 に示す。

50 m²未満の小規模な屋上緑地は、箇所では区全体の約 9 割、面積では約 2 割を占めており、小規模な屋上緑地が多い。

200 m²以上の大規模な屋上緑地は笹笥地域が 23 箇所、四谷地域、若松地域が 22 箇所、新宿駅周辺地域が 19 箇所、柏木地域が 12 箇所であった。

表 10-2 で示すとおり、緑化面積が大きい民間施設は早稲田アリーナ（37 号館）の 2,318 m²（若松地域）、CO・MO・RE YOTSUYA（コモレ四谷）の 2,198 m²（四谷地域）、伊勢丹本館の 2,167 m²（四谷地域）、京王プラザホテルの 1,737 m²（新宿駅周辺地域）であり、それらが位置する地域の緑化面積が大きくなっている。

表 10-4 10 地域別・面積規模別屋上緑地の状況

上段：箇所数(箇所) 下段：面積(m²)

地 域	50m ² 未満	50～ 100m ² 未満	100～ 200m ² 未満	200m ² 以上	合計
四谷地域	489	26	22	22	559
	4,946	1,994	3,052	14,153	24,145
笹笥地域	406	33	18	23	480
	4,850	2,259	2,398	9,683	19,190
榎地域	384	14	1	3	402
	3,778	1,034	110	911	5,833
若松地域	173	11	13	22	219
	1,937	785	2,020	14,629	19,372
大久保地域	312	28	9	9	358
	3,237	1,892	1,350	3,096	9,575
戸塚地域	249	15	7	7	278
	2,890	1,009	1,120	2,866	7,885
落合第一地域	247	10	5	5	267
	2,675	684	766	3,286	7,411
落合第二地域	174	4	6	5	189
	1,517	307	815	1,474	4,113
柏木地域	220	11	9	12	252
	2,273	747	1,347	5,147	9,514
新宿駅周辺地域	141	9	5	19	174
	1,601	613	736	12,154	15,105
区 全 体	2,795	161	95	127	3,178
	29,704	11,323	13,716	67,399	122,141

*緑化面積は小数第 1 位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。

1-3 土地用途別の屋上緑地の状況

土地用途別の屋上緑地の状況を表 10-5、図 10-2 に示す。

事業所の屋上緑地が箇所数、緑化面積ともに最も多く、1,147 箇所、41,409 m²であった。次いで集合住宅が 1,105 箇所、27,703 m²であった。土地用途が不明のものは土地用途区分を行うために用いた東京都建物現況データ（平成 28 年）に建物図形がなかったため、土地用途区分を行うことができなかったものである。そのため、平成 29 年度以降新たに建設された建物は、土地用途が「不明」に分類されている。不明に分類される新たな屋上緑地は 51 箇所、緑化面積 9,614 m²で 1 箇所当たりの緑化面積は 188.5 m²と比較的大規模な屋上緑地であることが分かる。

公共施設は緑化面積が 3 番目に大きい 21,799 m²であり、1 箇所当たりの緑化面積は 184.7 m²と 2 番目に大きい。また、学校の緑化面積も比較的大きく 12,350 m²であり、1 箇所当たりの緑化面積も 130.0 m²と公共施設について大きい。

表 10-5 土地用途別屋上緑地の状況

土地用途	箇所数 (箇所)	緑化面積 (m ²)	1箇所当たりの 緑化面積(m ²)
公園	0	0	0
学校	95	12,350	130.0
公共施設	118	21,799	184.7
寺社境内	31	2,224	71.7
集合住宅	1,105	27,703	25.1
個人住宅	631	7,043	11.2
事業所	1,147	41,409	36.1
その他	0	0	0
不明	51	9,614	188.5
合計	3,178	122,141	38.4

*緑化面積は小数第 1 位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。

*土地用途は平成 28 年東京都地理情報システムデータの建物現況データを利用している。

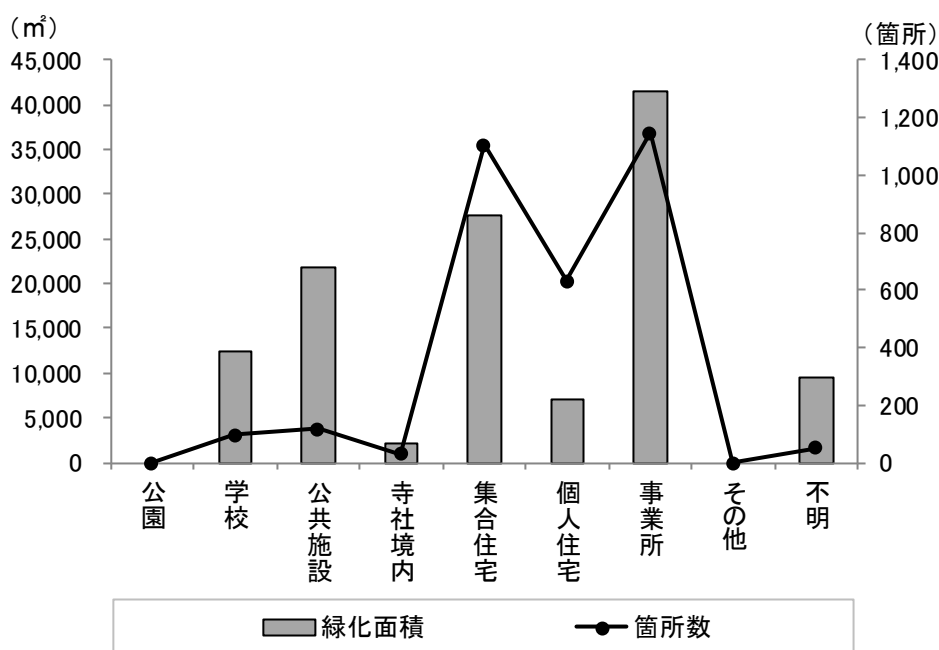


図 10-2 土地用途別屋上緑地の箇所と面積

1-4 建物面積規模別の屋上緑地の状況

5区分による建物面積規模別の屋上緑地の状況を表10-6、図10-3に示す。なお、建物面積区分は平成28年東京都建物現況データの図形面積を用いている。屋上緑地箇所数が最も多いのは250㎡未満の建物であり、2,058箇所、緑化面積は21,537㎡であった。次いで250㎡～500㎡の建物が多く、443箇所、9,249㎡であった。建物面積規模が大きくなるほど、1建物の屋上緑化面積が大きかった。

3区分による建物面積規模別の屋上緑地の状況を表10-7に示す。箇所数が最も少ないのは1,000㎡以上の建物であり310箇所、緑化面積は72,824㎡であった。

表10-6 建物面積規模別の屋上緑地の状況（5区分）

建物面積区分	箇所数 (箇所)	緑化面積 (㎡)	1箇所当たりの 緑化面積(㎡)
250㎡未満	2,058	21,537	10.5
250～500㎡	443	9,249	20.9
500～1,000㎡	367	18,531	50.5
1,000～5,000㎡	287	52,223	182.0
5,000㎡以上	23	20,600	895.7
合計	3,178	122,141	38.4

*建物面積は平成28年東京都建物現況データの図形面積とする。建て替わりなどで図形面積の変更が確認できたものについては航空写真を参考に作図を行った。

*緑化面積は小数第1位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。

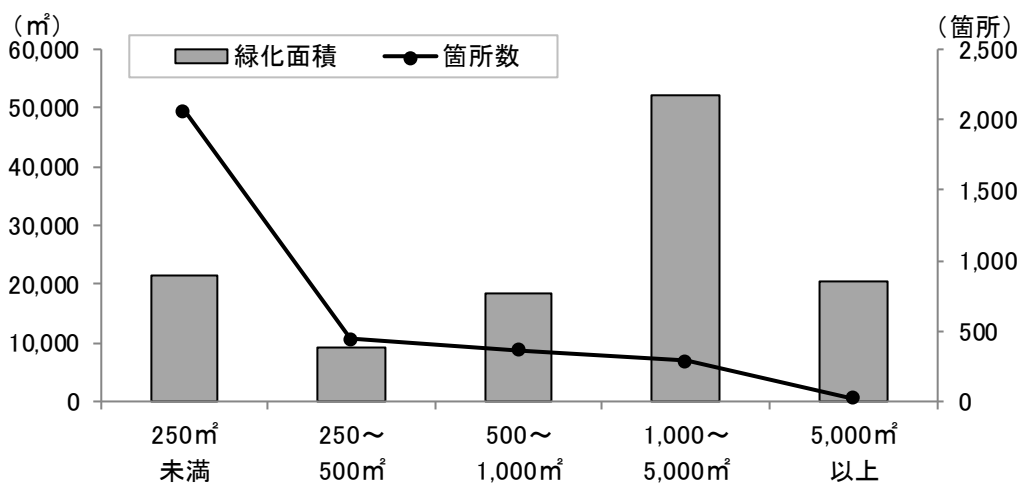


図10-3 建物面積規模別の屋上緑地の状況（5区分）

表10-7 建物面積規模別の屋上緑地の状況（3区分）

建物面積区分	箇所数 (箇所)	緑化面積 (㎡)	1箇所当たりの 緑化面積(㎡)
250㎡未満	2,058	21,537	10.5
250～1,000㎡	810	27,780	34.3
1,000㎡以上	310	72,824	234.9
合計	3,178	122,141	38.4

*建物面積は平成28年東京都建物現況データの図形面積とする。建て替わりなどで図形面積の変更が確認できたものについては航空写真を参考に作図を行った。

*緑化面積は小数第1位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。

2. 屋上緑地の推移

平成27年度（第8次）と令和2年度（第9次）調査の地域別の屋上緑地の推移を表10-8に、平成17年度（第6次）から令和2年度（第9次）調査の屋上緑地の箇所と面積の推移を図10-4に示す。

平成27年度（第8次）と令和2年度（第9次）調査の比較では区全体で211箇所、31,518㎡の増加であった。

緑化面積は全ての地域において増加していたが、箇所数は笹笥地域で42箇所、榎地域で91箇所の減少であった。屋上緑地は建築物の建替えに伴って変化しており、笹笥地域と榎地域では、面積規模の大きい緑化箇所が増えた結果、箇所数は減少したが緑化面積は増加した。緑化面積、箇所数ともに最も増加しているのは四谷地域で、38箇所、7,659㎡の増加であった。主な増加箇所はCO・MO・RE YOTSUYA（コモレ四谷）、国立競技場、慶應義塾大学病院、日本青年館である。次いで、若松地域が6,829㎡の増加であり、主な増加箇所は早稲田アリーナ（37号館）、富久クロスコンフォートタワー、国立国際医療研究センターであった。

若松地域は変化率も箇所数、面積ともに最も高かった。変化率の2番目に高い地域は大久保地域で主な増加箇所は桜美林大学 新宿キャンパスであった。キャンパスが新たに開設されたことにより、新たな屋上緑地として613㎡増加した。

表 10-8 屋上緑地の推移 上段：箇所数(箇所) 下段：面積(㎡)

地 域	平成27年度 (第8次)	令和2年度 (第9次)	平成27年度→ 令和2年度 増減	変化率
四谷地域	521	559	38	107.3
	16,486	24,145	7,659	146.5
笹笥地域	522	480	△ 42	92.0
	13,954	19,190	5,235	137.5
榎地域	493	402	△ 91	81.5
	5,106	5,833	726	114.2
若松地域	151	219	68	145.0
	12,543	19,372	6,829	154.4
大久保地域	271	358	87	132.1
	6,250	9,575	3,325	153.2
戸塚地域	271	278	7	102.6
	6,655	7,885	1,229	118.5
落合第一地域	211	267	56	126.5
	6,045	7,411	1,366	122.6
落合第二地域	185	189	4	102.2
	3,956	4,113	157	104.0
柏木地域	204	252	48	123.5
	6,357	9,514	3,157	149.7
新宿駅周辺地域	138	174	36	126.1
	13,270	15,105	1,835	113.8
区 全 体	2,967	3,178	211	107.1
	90,623	122,141	31,518	134.8

*変化率は平成27年度（第8次）調査を100とした場合の令和2年度（第9次）調査の箇所数及び面積の指数である。

*緑化面積は小数第1位を四捨五入しており、集計値及び増減があわない場合がある。

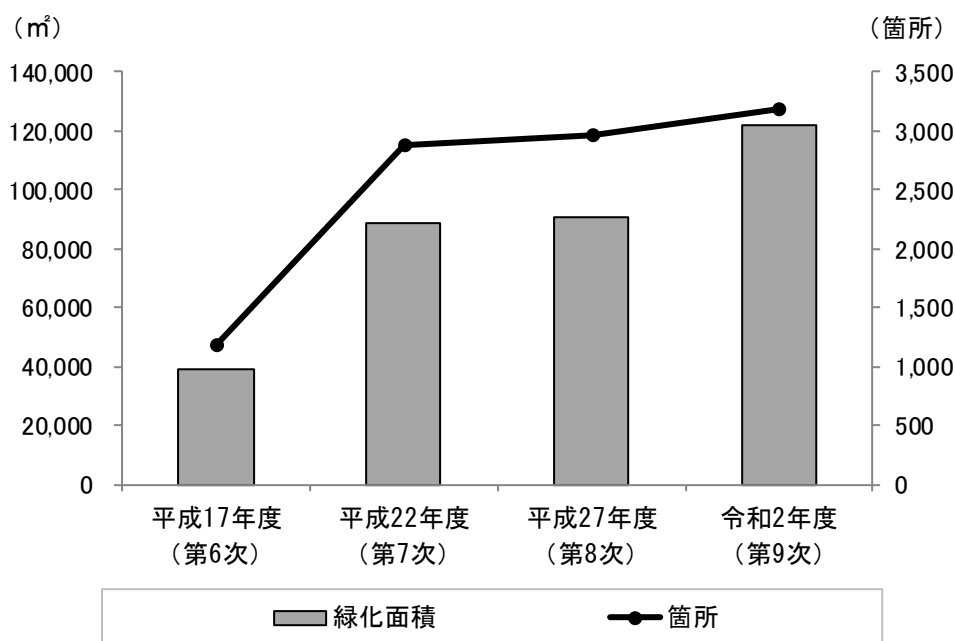


図 10-4 屋上緑地の箇所と面積の推移

土地用途別の屋上緑地の推移を表 10-9 に示す。

緑化面積の増加が最も大きいのは事業所で、7,676 m²の増加であるが、箇所数は 29 箇所の減少であった。また、集合住宅は箇所数の増加が最も多く、126 箇所の増加、緑地面積も 2 番目に多い 7,513 m²の増加であった。新宿区では集合住宅用地が増加しており、緑化計画書制度により、開発計画や建築計画等がある際は、屋上緑地整備を誘導していることから、集合住宅の建築に伴い屋上緑地が増加したと考えられる。

表 10-9 土地用途別の屋上緑地の推移

土地用途	平成27年度		令和2年度		変化	
	箇所	面積(m ²)	箇所	面積(m ²)	箇所	面積(m ²)
公園	1	4	0	0	△ 1	△ 4
学校	89	10,014	95	12,350	6	2,336
公共施設	115	16,608	118	21,799	3	5,190
寺社境内	25	1,676	31	2,224	6	548
集合住宅	979	20,190	1,105	27,703	126	7,513
個人住宅	544	4,427	631	7,043	87	2,616
事業所	1,176	33,733	1,147	41,409	△ 29	7,676
その他	5	62	0	0	△ 5	△ 62
不明	33	3,910	51	9,614	18	5,704
合計	2,967	90,623	3,178	122,141	211	31,518

*緑化面積は小数第 1 位を四捨五入しており、集計値があわない場合がある。

*平成 27 年度 (第 8 次) 調査の土地用途は平成 23 年東京都地理情報システムデータの建物現況データを、令和元年度 (第 9 次) 調査の土地用途は平成 28 年東京都地理情報システムデータの建物現況データをそれぞれ利用している。

～ みどいをつなぐ！ ～

「屋上緑化」「壁面緑化」と聞いて、何をイメージしますか？

屋上にプランターを置きお花を育てていれば屋上緑化、玄関先でゴーヤを家の壁に沿って育てれば壁面緑化となります。建物などを立体的に緑化することで、野鳥やチョウなどの生き物が訪れたり、休んだりする場所が生まれます。

一方で、屋上や壁面を緑化する場合は、地面に直接緑化する場合と違い、気をつけなくてはならないことがあります。屋上緑化では、屋上には荷重制限があるため、土などが水を含んだ場合や樹木が生長した場合の重さをあらかじめ想定し、乾燥に強く大きくなりすぎない植物を選ぶのが基本です。壁面緑化では、支柱などの補助資材を使用し、ツル植物を定期的に誘引する必要があります。

都市化の進展により緑化余地の少ない新宿区では、みどりを増やす有効な手段として建物の屋上、壁面等の緑化を推進しており、緑化する費用の一部を助成しています。また、屋上緑化講座を開催し、屋上緑化の魅力や施工時に注意すべき事項等を専門家の方に説明いただいています。制度の詳細については区にお問合わせください。

助成の対象の緑化面積と経費

屋上緑化	緑化面積 1㎡以上 植栽基盤造成及び植栽工事に要した経費
壁面緑化	緑化面積 3㎡以上 植栽及び支持補助資材設置等に要した経費

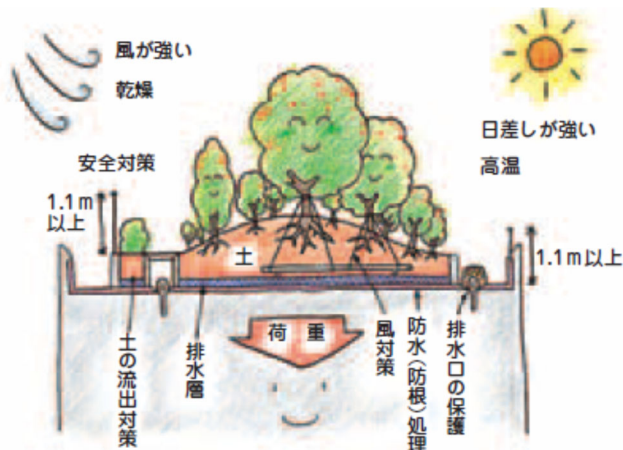
* 灌水装置は対象になりますが、水道の引き込み工事費は除きます。



区役所第二分庁舎分館
屋上緑化



屋上緑化講座（実習風景）



屋上緑化の留意点

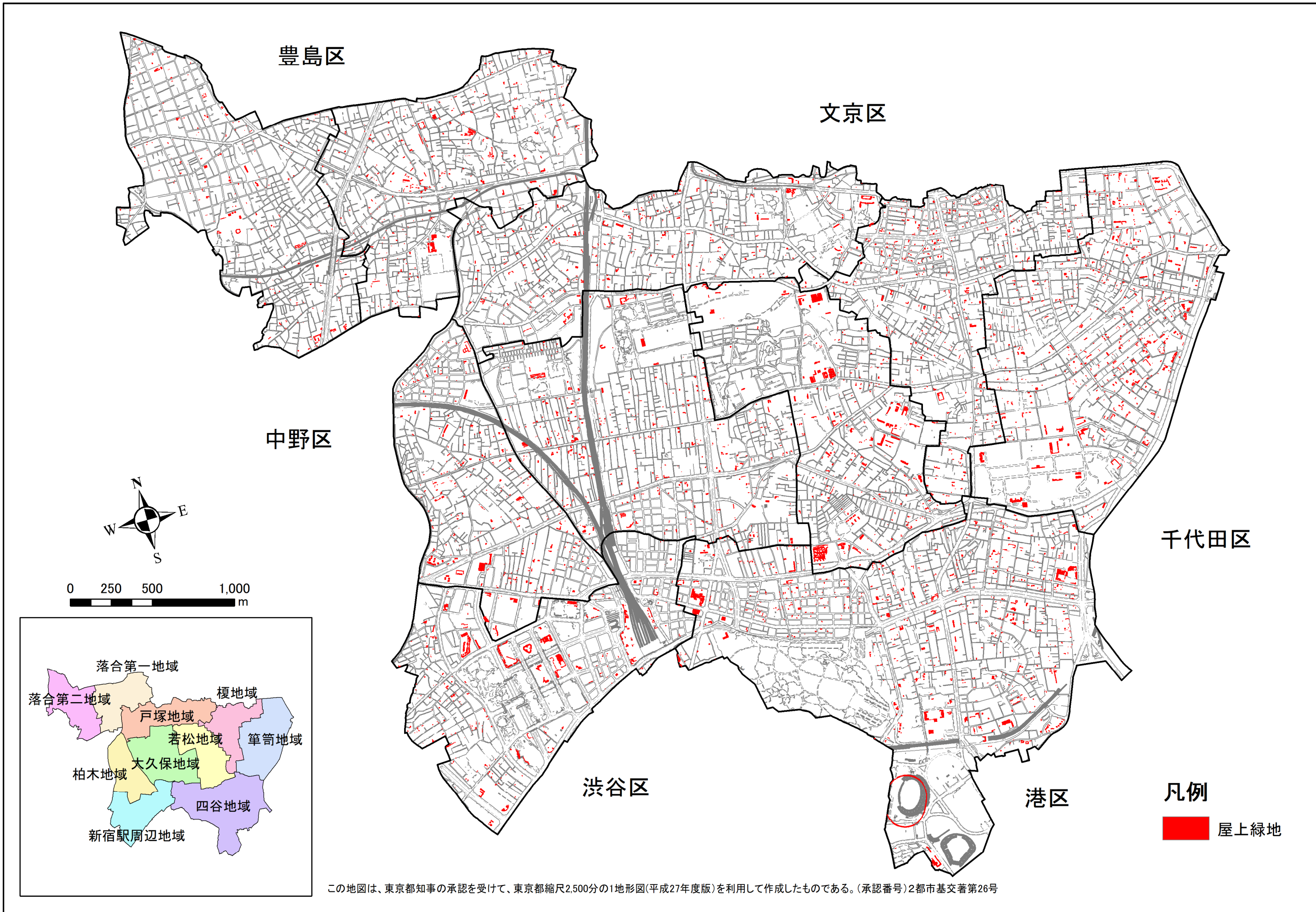


図 10-5 屋上緑地分布図

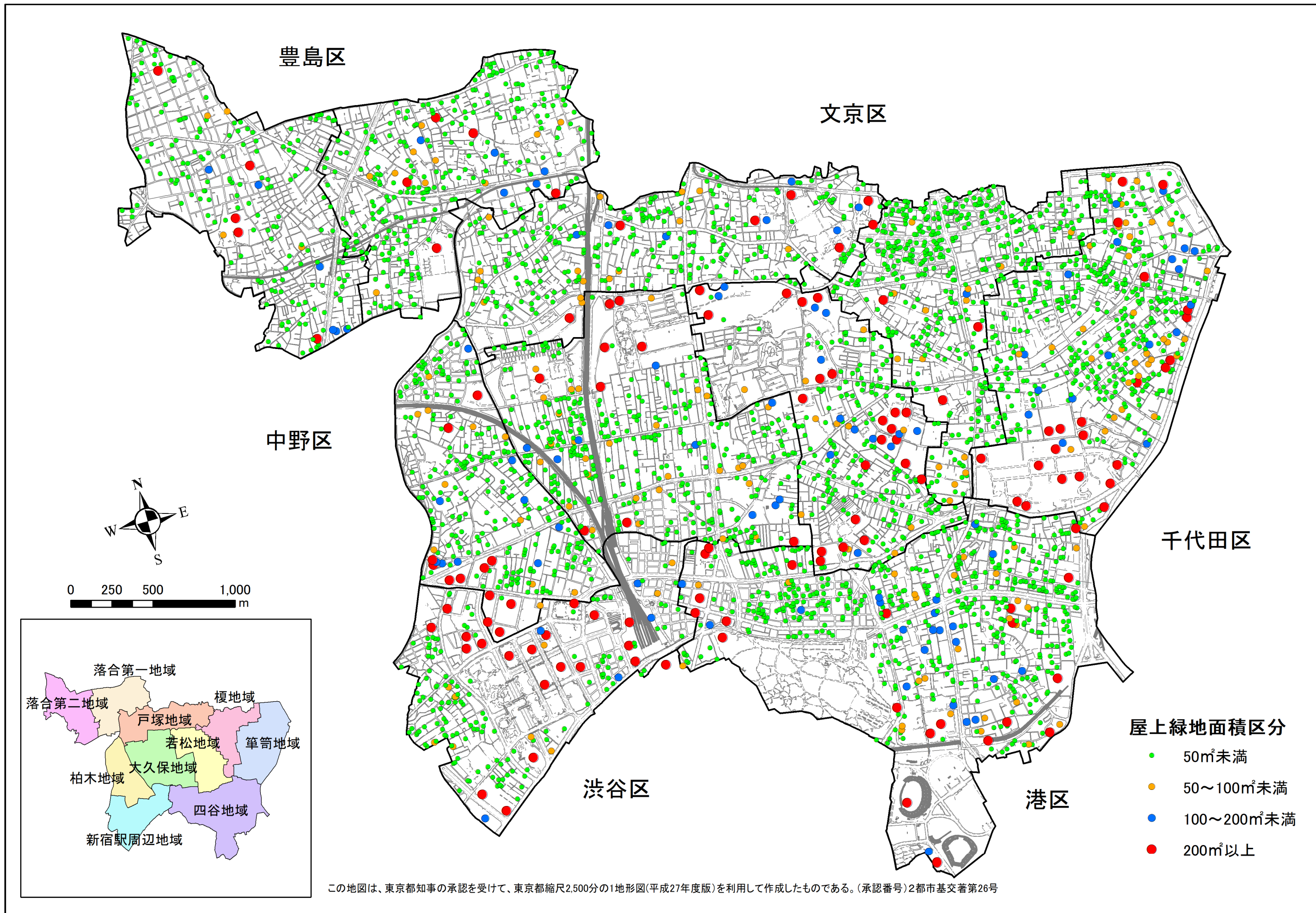


図 10-6 屋上緑地分布図（緑化面積規模別）